

2018年3月期 決算の概要について

2018年 4月27日
住友精密工業株式会社

I. 2018年3月期 決算 - セグメント業績



[対前年度比較]

<航空宇宙>

販売面は、官需の一時的な落ち込みを、航空機用熱交換器および油圧機器等の増収でカバーし、微減に留まる。損益については、これまでに進めてきた合理化効果もあり改善。

<熱交換器・環境>

エネルギー関連投資動向も依然として回復への動きが鈍く、熱交換器の需要低迷の継続等により減収。損益面では、合理化努力を継続するも減収影響も大きく、前年度並みの赤字。

<ICT>

マイクロマシニング装置および半導体用熱処理装置の受注好調に伴い、増収増益。

(参考)

<対米ドル為替期中平均> <108> <109> <111> <111> (億円) <110>

	2017年3月期(※)			2018年3月期			対前年度差異			前回 通期 予想
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期	下期	通期	
売上高	226	254	480	206	266	472	-20	12	-8	480
航空宇宙	147	164	311	150	159	309	3	-5	-2	310
熱交換器・環境	56	47	103	36	47	83	-20	0	-20	95
ICT	23	43	66	20	60	80	-3	17	14	75
営業利益	-0.4	7.7	7.3	-0.6	20.9	20.3	-0.2	13.2	13.0	8.5
			1.5%			4.3%	0.0%	0.0%	2.8%	1.8%
航空宇宙	5.9	2.2	8.1	6.9	5.6	12.5	1.0	3.4	4.4	9.0
			2.6%			4.0%			1.4%	2.9%
熱交換器・環境	-3.0	0.4	-2.6	-3.5	0.8	-2.7	-0.5	0.4	-0.1	-3.5
			-2.5%			-3.3%			-0.7%	-3.7%
ICT	-3.3	5.1	1.8	-4.0	14.5	10.5	-0.7	9.4	8.7	3.0
			2.7%			13.1%			10.4%	4.0%

※費用の配賦方法変更に伴い、当該会計年度の営業利益のセグメント別内訳を見直しております。

営業外損益： 当年度は、Silicon Sensing Systems Ltd.（持分法適用会社）における各種センサの販売増加に伴う持分法による投資利益の改善を主体に前年度から営業外損益は好転。

特別損益： 航空宇宙関連事業の連結子会社である CFN Precision Ltd. における受注環境の悪化等を受け、保守的に同社の製造設備等の減損損失として約3.1億円を計上。
また、同様の理由等により、子会社株式に係るのれんについても減損損失 約2.9億円を計上。

配当： 安定的な配当継続を基本方針としておりますが、本格的な収益力の向上と財務体質の改善においては、未だ改革の進展途上にあることから、年間配当は前回予想を据え置き、1株当たり5円（上期2.5円 下期 2.5円）とさせていただきます。

	<対米ドル期末為替水準> <112> <112>		<113> <106>		(億円)		(参考)
	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	18/3-17/3 通期 増減	2018年 3月期 前回予想
売上高	512	480	206	266	472	-8	480
営業利益 (営業利益率)	13.1 2.6%	7.3 1.5%	-0.6 -0.3%	20.9	20.3 4.3%	13.0 2.8%	8.5 1.8%
営業外収益	2.6	2.9	2.4	4.3	6.7	3.8	2.6
営業外費用	-12.5	-9.4	-2.2	-4.3	-6.5	2.9	-5.6
経常利益 (経常利益率)	3.2 0.6%	0.8 0.2%	-0.4 -0.2%	20.9	20.5 4.3%	19.7 4.2%	5.5 1.1%
特別損益	-8.9	-11.2	-	-6.1	-6.1	5.1	-
税引前当期利益	-5.7	-10.4	-0.4	14.8	14.4	24.8	5.5
当期純利益	-6.2	-14.9	-2.3	7.3	5.0	19.9	2.0
EPS (円/株)	-11.8	-28.1	-4.3	13.8	9.5	37.6	3.8
ROE	-	-	-	-	1.5%	-	0.6%
配当 (円/通期)	7.0	5.0	2.5	2.5	5.0	0.0	5.0(予定)

Ⅲ. 2019年3月期 通期予想



[対前期比較]

<航空宇宙>

販売面は、官需の回復を主体に増加。想定為替レートは、105円/米ドル。

損益面では、想定為替レートの円高影響等により後退。

<熱交換器・環境>

これまでの合理化効果に加え、下期に熱交換器の需要回復を見込み、損益は黒字化。

<ICT>

販売面は、半導体・MEMS製造装置における投資一巡等により減少。損益面では、販売減少に加え、販売構成の変化、および前年度からの開発費ずれ込みにより後退。

<対米ドル為替期中平均> <111> <111> <105> <105> (億円)

	2018年3月期			2019年3月期			対前期差異		
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 予想	下期 予想	通期 予想	上期	下期	通期
売上高	206	266	472	210	275	485	4	9	13
(内、為替差)							(-2)	(-4)	(-6)
航空宇宙	150	159	309	140	175	315	-10	16	6
熱交換器・環境	36	47	83	35	60	95	-1	13	12
ICT	20	60	80	35	40	75	15	-20	-5
営業利益	-0.6	20.9	20.3	-5.0	18.0	13.0	-4.4	-2.9	-7.3
(営業利益率)			4.3%			2.7%			-1.6%
(内、為替差)							(-1)	(-3)	(-4)
航空宇宙	6.9	5.6	12.5	-3.5	12.5	9.0	-10.4	6.9	-3.5
			4.0%			2.9%			-1.2%
熱交換器・環境	-3.5	0.8	-2.7	-1.5	3.0	1.5	2.0	2.2	4.2
			-3.3%			1.6%			4.8%
ICT	-4.0	14.5	10.5	0.0	2.5	2.5	4.0	-12.0	-8.0
			13.1%			3.3%			-9.8%
営業外収益	2.4	4.3	6.7	1.0	2.0	3.0	-1.4	-2.3	-3.7
営業外費用	-2.2	-4.3	-6.5	-3.5	-2.5	-6.0	-1.3	1.8	0.5
経常利益	-0.4	20.9	20.5	-7.5	17.5	10.0	-7.1	-3.4	-10.5
(経常利益率)			4.3%			2.1%			-2.3%
特別損益	0.0	-6.1	-6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	6.1
税引前当期利益	-0.4	14.8	14.4	-7.5	17.5	10.0	-7.1	2.7	-4.4
当期純利益	-2.3	7.3	5.0	-6.5	11.0	4.5	-4.2	3.7	-0.5
EPS (円/株)	-4.3	13.8	9.5	-12.3	20.8	8.5	-7.9	7.0	-1.0
ROE	-	-	1.5%	-	-	1.4%	-	-	-0.2%
配当 (円/通期)	2.5	2.5	5.0	2.5(予定)	2.5(予定)	5.0(予定)	-	-	-

- 2016年度に続き、2017年度もフリーキャッシュフローは黒字を継続 (+ 4 4 億円)
- 有利子負債の圧縮を進め、D/Eレシオは 0.86 へ改善
- 2018年度 フリーキャッシュフロー予想 + 5 億円

(億円)

(連結)	2013年 3月末 実績	2014年 3月末 実績	2015年 3月末 実績	2016年 3月末 実績	2017年 3月末 実績	2018年 3月末 実績	2019年 3月末 予想
総資産	756	799	819	830	778	803	795
有利子負債合計	272	284	296	317	304	288	260
自己資本(純資産)	336	332	354	336	323	336	338
D/E レシオ	0.81	0.85	0.84	0.94	0.94	0.86	0.77
自己資本比率	44.1%	41.0%	42.4%	39.6%	40.5%	40.5%	41.1%
ROE	0.8%	1.8%	4.3%	-	-	1.5%	1.4%
FCF	-7	-32	-18	-39	27	44	5